



中津江

Nakatsue



楽しく真剣！防災講座

3月17日、市の自主防災活性化事業のモデル地区である丸蔵自治会で防災講座が開催された。同自治会では、以前に防災士を招いて講座を開催しており、今回はさらに実践的な防災技術を学んだ。講座はより多くの住民が参加しやすいよう、毎年行っている軽スポーツ大会と組み合わせて開催され、参加者は楽しくも真剣に取り組んでいた。



私にもできる“むらづくり”

3月12日、中津江振興局で「私にもできる“むらづくり”」と題して地域づくり講演会が開催された。主催は地元の住民自治組織「中津江むらづくり役場」で、当日は約50人が参加した。講師からは行事や会議等を抱き合わせる効率的な事例等が説明され、参加者は安心できる暮らしの継続に向けて熱心に聞き入っていた。

大山

Oyama



わっはっは！笑顔と笑い声が増幅中

中大山の「きらくの会」は、健康相談や脳トレを取り入れたお茶飲みを楽しく続けている。認知症予防ゲームでは、難易度が上がると思わぬ動きが出て大爆笑。参加者は昼間一人で過ごすことが多く、「しゃべって大笑いして、みんなと一緒にやき楽しい」「次までに家で練習しよう」と、回を重ねるごとに笑顔と楽しみが増えている。



暮らしの困りごとはありませんか？

3月20日、定例行政相談が振興局で行われ、大山地区の行政相談委員として活動している矢羽田哲雄さんが相談に応じた。矢羽田さんは13年以上地域に寄り添い、住民から行政上の苦情や要望を受け、助言や関係機関への改善申入れ等を行ってきたが、3月末に任期満了を迎え退任。「相談者が最後には笑顔で帰れるように」と心を砕いていた。



日田

Hita

TOWN TOPICS IN HITA

まちの話題



日田産農産物が生まれ変わる！

3月26日、坂井町のIMIRU kitchen studioで農産物加工品開発講座成果発表会が開催された。講座を受講した「日田アグリ株式会社」と「ひ葉た農園」の2団体が地域の農産物を活用して新たに誕生した、にんにくベースの調味料と、トマトのソースの2商品の紹介を行った。どちらも簡単に美味しく調理ができる新商品となっている。



今年の吉凶を占う

3月15日、小豆飯にできたかびの生え方で地域と五穀の吉凶を占う「米占い」が大原八幡宮で行われた。氏子によると「地形盆」の黒かびの様子から川の災いを心配していた。また「五穀盆」の中心に黒かびがあり植え付け時期の天候が心配だが、外側は白かび一色で覆われていることから収穫時期は良好だろうと占っていた。



桜満開！楽しくウォーキング！

3月31日、大鶴公民館周辺のコースで「大鶴ウォーキング」が開催された。今回新たなコースが追加され、合計5コースとなった。参加者は自分の脚力に合ったコースを選び、桜満開の山里の風景と自然を満喫しながらウォーキングをした。ゴール地点では、だんご汁が提供され、市内外から集まった約300人の参加者は楽しい1日を過ごしていた。



美しい桜のトンネル

3月30日・31日の2日間、いいちこ日田蒸留所で「春の蔵開き」が開催された。通常は公開していない工場内部を見学できる蔵体験ツアーや社の音楽会などの多彩なイベントが開催され、会場はとてにぎわっていた。また、会場内の桜並木が満開で訪れた人は、美しい桜のトンネルの散策を楽しんでいた。